



きらめき 串木野っ子

〔校訓〕
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和6年度6月号
串木野小学校学校便り
令和6年6月28日発行

キーワードは笑顔（にこにこ）！

校長 牧之瀬 陽一



一学期も残り三週間足らずとなりました。子供さんは**笑顔**で元気に学校やお家で過ごせていますでしょうか。今回は、顔について書きたいと思います。

さて、脳のホルモンを変えるスイッチは、実は「顔」なんだそうです。どんな顔がいいと思いますか？もちろん、**笑顔**です。これは、元神戸市で校長先生をされ、心理カウンセラーの長井功先生がある本で書かれています。昔から「笑う門には福来たる」「笑いは百薬の長」「一笑一若」などと言われますが、この他にも笑いもたらす効能は誰でも経験的に感じているのではないのでしょうか。笑いは霊長類だけにみられる高度な意思表示で、本能からの笑いは、涙の分泌や呼吸の変化、血管の収縮や拡張を引き起こします。これは、副交感神経が優位に働くため、体をリラックスさせることができます。笑いは、ストレスを発散させるのにも効果があるのだそうです。陸上界のスーパースター、100m走の世界記録保持者のウサイン・ボルト選手も走っている顔をよく見ると、笑顔ですよ。笑顔の方が、上体がリラックスして足がよく回るのです。逆に「一怒一老」と言われるように、人間、怒ると脳内にノルアドレナリン等のホルモンが分泌され、体を老化させます。歌人で精神科医の斉藤茂吉の長男、斉藤茂太氏も精神科医の立場から様々なエッセイを残されていますが、その中の一つに

「悲しいから泣くのじゃなくて、泣くから悲しい説もある。ニコニコすれば、自然に心の中も楽しくなる。」とあります。

心掛けて微笑みをたたえていれば、心も軽やかになり、精神衛生上大変いいことだそうです。（「授業では教えない“生き方”教育」より引用）

私は、毎朝正門で子供たちを迎えています。これまで書いたように一人一人の子供たちが**笑顔**で過ごせるように、私自身が笑顔で元気よく出迎えようと思い、ピブス（ニコニコピブス？）を用意して、あいさつをしています（最初は少し恥ずかしかったですが、今はもう慣れました！）。

これから、笑顔いっぱいあふれる串木野小、串木野地域であってほしいと思いますし、ここからこの「**笑顔**」を市内一円に拡散できたらと思います！串木野小565人みんなが**笑顔**で、その良さを発信していきましょう！キーワードは笑顔だ！



笑顔の心十二か条

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 「はい」と素直に言える 笑顔の心 | 「ありがとう」といつも言える 笑顔の心 |
| 「ごめんなさい」「すみません」と頭を下げる 心 | 「よかったですね」と喜び合える 笑顔の心 |
| 「がんばります」と前向きに言える 笑顔の心 | 「お願いします」と信じて言える 笑顔の心 |
| 「おかげさまで」と感謝できる 笑顔の心 | 「会えて良かった」と感動できる 笑顔の心 |
| 「がんばりましょう」と励まし合える 笑顔の心 | 「だいじょうぶ」と受け止められる 笑顔の心 |
| 「うれしいです」と感激できる 笑顔の心 | 「よかったなあ」といつでも喜べる 笑顔の心 |



私が**笑顔**になったちょっといい話

4-3の子供が国語の授業で手紙を書いてくれてうれしくて**笑顔**になったので紹介します。

ほくは校長先生に感謝しています。その理由の一つは全クラスを回っていることです。社会の時に来てくれて校長先生の話で社会の勉強がもっと好きになりました。二つ目は、いつも正門の前に立っていつもあいさつをしてくれることです。今日も一日頑張るぞと思います。そのおかげで授業中集中できています。三つ目は、いつもあいさつをしたり応援してくれたりしていつも心がほかほかしてきて頑張ろうと思っています。校長先生ありがとうございます。（一部省略）

仲間との絆を深めた宿泊学習

5年生児童が南薩少年自然の家で宿泊学習を行いました。1日目はオリエンテーションを経て、友達と協力しながら自然体験活動に取り組みました。2日目には、野外炊飯でカレー作りを行い、その味は一生忘れられない美味しさでした。

2日間を通じて約束を守り、自分たちで考え行動することを学びました。この貴重な経験を通じて、一層たくましく成長しました。これからの学校生活や家庭生活でのさらなる自立が期待されます。



ホットな話題 ～ 学校応援団の方のお話より

家庭科の授業が終わり、学習支援にきてくださった学校応援団ボランティアの方に、児童は元気に言いました。「おばあちゃん、今日はどうもありがとう。おばあちゃんのおかげでとってもよかったですよ。また今度も来てね。」学校応援団の方は優しく微笑んで答えました。

「ありがとう、おばあちゃんも楽しかったよ。」

翌日、隣のクラスに裁縫を教えに来てくださった、学校応援団の方を見つけた児童が、廊下で駆け寄ってきました。

「おばあちゃん、今日も来てくれたんだ！わーい、おばあちゃん！」

手を振る児童に、学校応援団の方は驚きながらも微笑んで応えました。

「ああ、ありがとう。昨日の女の子だね。どうもありがとう。」

学校応援団の方は嬉しさで、心が温かくなりました。その気持ちを胸に、この日も裁縫の学習支援をすることができたそうです。

1週間後、上名地区の田植えの体験学習の最中に、今度は別の児童に声をかけられたそうです。

「おばあちゃん、裁縫を教えに来てくれたおばあちゃんだよね。私のこと覚えてる？」

学校応援団の方は嬉しそうに答えました。

「ああ、ありがとう。声をかけてくれて。覚えてるよ。ここでも会えたね。」

学校応援団の方は再び、心から喜びを感じたそうです。



学校応援団の支援の様子



上名地区の田植えの様子

申小
プライド

「学力向上」と「学習者主体の授業の創造」に向けて、教児一丸となって取り組んだ月でした。子どもたちは、自ら問題を発見し、見通しを持って、友達と協力しながら粘り強く課題に取り組み、解決することができました。そして、自分の学びを振り返る姿も見られました。これは、すべての学年に共通する授業の様子です。



6年 国語



4年 算数



3年 算数



2年 生活

7月行事予定

13日(土) 土曜授業



19日(金) 終業式、花さき山読み聞かせ

14日(日) さのさ祭り市中踊り (5・6年希望者)

23日(火) 校内水泳記録会 (5・6年希望者)